

企画総務委員会

送付23-9

東松下町計画における空間確保の陳情

受付年月日 平成23年6月15日

陳 情 者

陳情書

(趣旨)

千桜小学校は明治から平成を通じ、一万人以上の卒業生を輩出してきました。しかし、平成5年廃校となりました。その後、校舎は区の管理不備が原因で解体されました。そして、地域の防災拠点としての役割は今川中学校跡地に変更されています。

本年3月11日に起こった震度5強の揺れの際、今川中学校跡地は避難民で溢れ、行き所のない人々は千桜小学校跡地に殺到し、一時千人近い人々が当該跡地に非難しました。

現時点で東松下町計画は開発業者も選定されております。計画の片鱗について、地域住民にも説明されました。しかし、本計画で地域住民が終始指摘している事は、空間の少なさであります。開発業者から提案されている案では、空間が東西に二分されています。この案では、この地域の避難所及び罹災後の復興拠点としての役割を果たすべき空間を確保することができません。より強い地震が起こる可能性が高いということで、国も原子力発電の見直し等をはじめました。千代田区も、当該計画の建設位置などを、地域住民の安心安全を確保するためにも、再検討されることを陳情致します。

平成23年6月15日

千代田区議会議長 小林やすお 殿